

研究テーマ

✓小児肥満・糖尿病

- ・脂質メッダイエーターの役割の解明
- ・病態における褐色脂肪組織 (BAT: brown adipose tissue) の役割の解明
- ・BAT、白色脂肪組織を標的とした新規創薬
- ・次世代シーケンサーによる肥満関連遺伝子の解析

✓中枢神経に着目した摂食亢進の機序解明

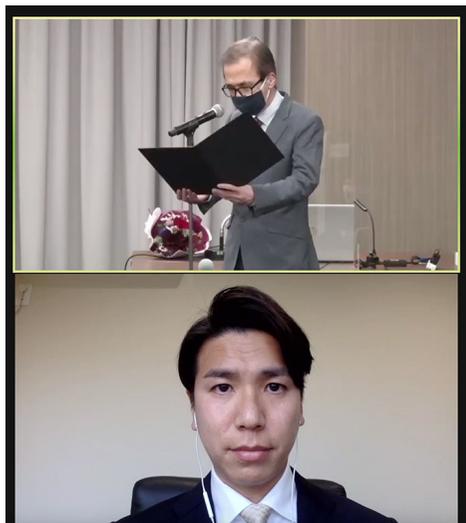
✓エネルギー代謝を標的とした新規抗腫瘍薬の開発

受賞歴

第54回日本小児内分泌学会 若手優秀演題賞 受賞

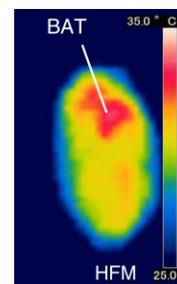
研究テーマ：ACE2の褐色脂肪組織活性化の機序解明

河辺助教(下)



褐色脂肪組織 (BAT)

- ・ヒト・マウスの肩甲骨間などに分布
- ・熱産生・内分泌臓器として糖脂質代謝に影響する
- ・肥満糖尿病の治療標的として注目されている



サーモグラフィにてマウスのBATを撮像。
熱産生によって体表温度が上昇している。
杉本哲 助教の論文より抜粋
(Nutrition & Metabolism 2015)

日本の小児内分泌領域において
当グループはBAT研究の先駆的存在

第55回欧州小児内分泌学会 President Poster award 受賞

研究テーマ：Rett症候群の
モデルマウマウスの高脂肪
食嗜好性の機序解明

熱意ある若手が頑張っています

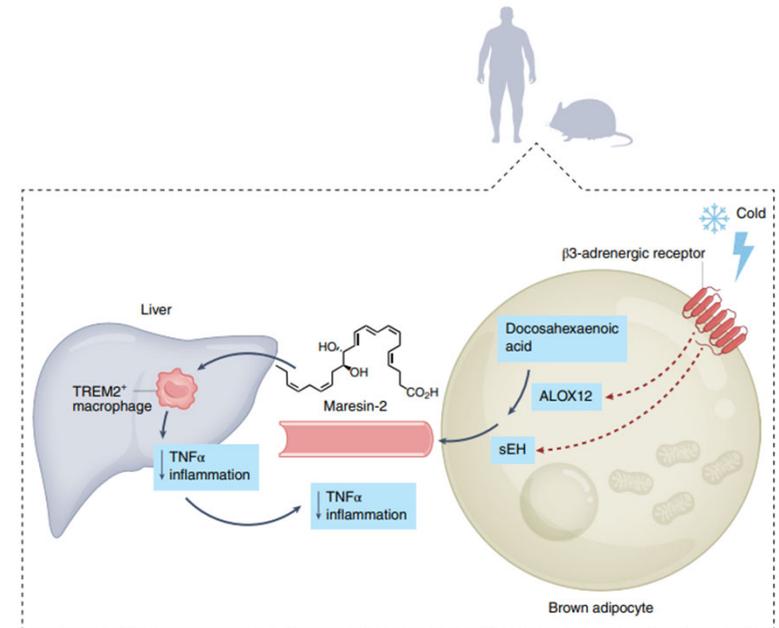


福原特任助教

世界有数の研究施設との共同研究プロジェクト

研究室チーフ（杉本 哲 助教）は2017-2021年まで米国Joslin Diabetes Center代謝学・統合生理学研究部のTseng Labに研究留学してました。杉本は基礎研究の成果を代謝系ジャーナルの最高峰の一つNature Metabolism誌に報告しており（右図）、同研究を基盤に Tseng Lab、神戸大学質量分析総合センターとの共同プロジェクトを推進中です。

臨床活動と共に研究してくださる
熱意ある方を鋭意募集中です！！



杉本らはBATから分泌された炎症収束性の脂質メディエーターであるMaresin2が肥満起因性の肝臓炎症を低下することを解明した

([Sugimoto et al. Nature Metabolism 2022](#) ;
[Villarroya F et al. Nature Metabolism 2022](#))